

# 週刊 タバコの正体

下図のグラフは「IQOS(加熱式タバコ)は一般的な紙巻タバコに比べ90%も有害成分が少ない」という広告画像です。本当に90%も少ないのでしょうか。その次に示す厚生労働省のある研究をみると、加熱式タバコのニコチン濃度や発ガン性物質の量は少ないという結果がでていますが、90%も少ないかどうかは断定しにくいと思います。でも、こんな広告を見れば多くの人は「じゃあ、加熱式タバコは健康に悪影響がないのか」と感じることでしょう。

健康に悪影響がないのか」と感じることでしょう。

しかし、グラフの下に小さい文字で書かれている点線で囲った文章を拡大してみると……

「健康に及ぼす悪影響が他製品と比べて小さいことを意味するものではありません。」という注釈が記されています。

加熱式タバコも、今までのタバコと同じように危険な商品です。

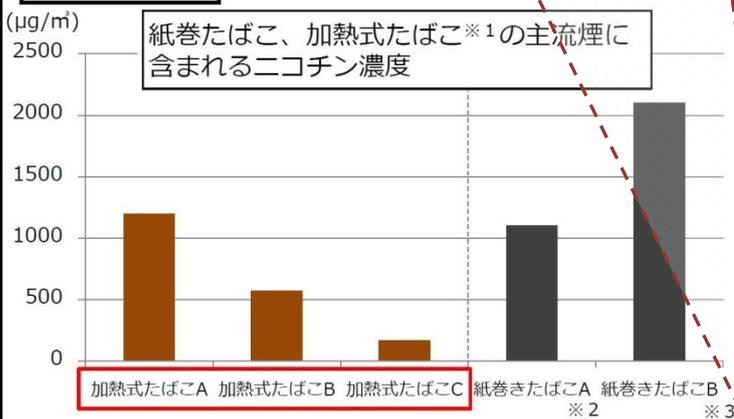
産業デザイン科 奥田 恭久

## 国際公衆衛生機関が優先する9つの有害性成分の量の低減率(平均)



※ 平成16年3月8日財務省告示第109号、平成15年11月20日財理第4224号による文言図表および「有害性成分の量を大幅にカット」の表現は、本製品の健康に及ぼす悪影響が他製品と比べて小さいことを意味するものではありません。  
 ※ 2015年10月時点で、日本で販売されている代表的な1mgの紙巻たばこ27種類・8mgの紙巻たばこ22種類と、iQOSのたばこペーパーに含まれる、国際公衆衛生機関が優先する9つの有害性成分の量の比較。

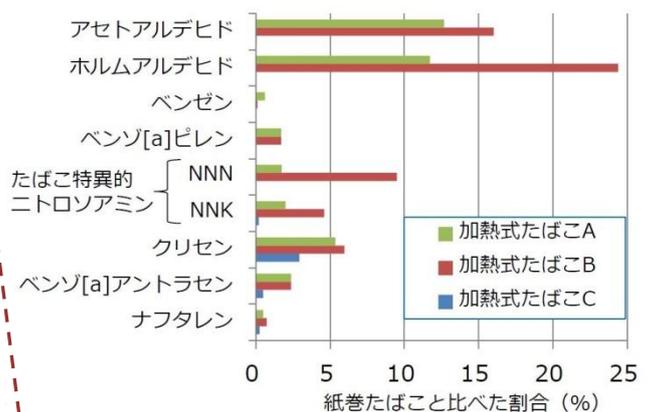
## 主流煙の成分



※ 1: 12回吸引(紙巻たばこで概ね1本に相当する吸引回数)  
 ※ 2・3: 試験研究用の紙巻たばこ参照品(※2: 1R5F ※3: 3R4F)

厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究「非燃焼加熱式たばこにおける成分分析の手法の開発と国内外における使用実態や規制に関する研究」

## 加熱式たばこ主流煙中の発がん性物質の一例(紙巻たばこ※3の主流煙に含まれる各成分量を100%としたときの割合)



※ 平成16年3月8日財務省告示第109号、平成15年11月20日財理第4224号による文言図表および「有害性成分の量を大幅にカット」の表現は、本製品の健康に及ぼす悪影響が他製品と比べて小さいことを意味するものではありません。

※ 2015年10月時点で、日本で販売されている代表的な1mgの紙巻たばこ27種類・8mgの紙巻たばこ22種類と、iQOSのたばこペーパーに含まれる、国際公衆衛生機関が優先する9つの有害性成分の量の比較。